

北区障害者地域自立生活支援室より

支援室だより

第32号 (2008年10月発行)

【年6回偶数月上旬発行】

【相談窓口】

〒114-0032 東京都北区中十条 1-2-18 障害者福祉センター1階

TEL:03-3905-7225 TEL・FAX 兼用:03-3905-7226 E-MAIL: peernet@ma.kitanet.ne.jp

開所日時: 月～金 10時～19時 土 10時～17時 *日・祝・年末年始は休み

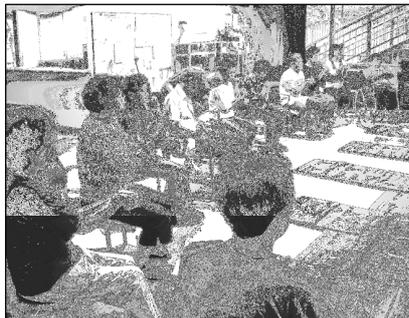
“支援室だより”は印刷されたもののほか、視覚に障害のある方のために、「ろくせいがい点字サークル六星会(福祉センタークラス)」のご協力で **点字版** を、音(声)訳「やまびこ」のご協力で **音訳版** を作成しています。ご希望の方は支援室までご連絡ください。(電話・FAX兼用:03-3905-7226)

今号の内容

- ヨガ教室開催中 1ページ
- ハンドメイド教室のお知らせ 2ページ
- スキルアップパソコン講座のご案内 2ページ
- 障害者作品展のお知らせ 3ページ
- 国際福祉機器展に行ってきました 4ページ
- 北京パラリンピック観戦記 5ページ
- 【情報提供】視覚障害者向けイベントのお知らせ 6ページ
- 【情報提供】懸賞論文募集のご紹介 7ページ
- 【情報提供】ふらっときたおもちゃの図書館のご紹介 8ページ

ヨガ教室開催中

9月は8日、22日、29日の3回、ヨガ教室を開催しました。今回は初めての方が多のですが、山脇先生はじめライブアップヨガ学院の優しい親切な先生方のご指導のもと、皆さん楽しそうにヨガにチャレンジなさっていらっしゃいます。



← 椅子に座って
手や腕を動かす運
動をする皆さん。

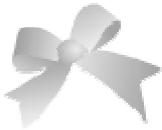


→ マットの上で
ネコのポーズに挑
戦する皆さん。

ハンドメイド教室のお知らせ

11月から12月にかけて、隔週の土曜日に、知的障害者向けの自立生活支援プログラムとして、全4回のハンドメイド教室を開催します。

～知的障害者自立生活支援プログラム～



ハンドメイド教室のお知らせ

心をこめて、大切な人にプレゼントしてみませんか？



☆日程☆

第1回	11月15日(土)	「簡単お菓子作り」でお腹いっぱい！！
第2回	11月29日(土)	おしゃれ度アップ「ストラップ作り」
第3回	12月13日(土)	あなたのお部屋に「手作りクリスマスリース」
第4回	12月20日(土)	「手作りクリスマスケーキ」でパーティー☆

※内容は変更する場合があります。

☆場所☆ 障害者福祉センター 2階 洋室 (12月13日のみ障害者地域活動支援室きらきら)

☆時間☆ 13:30～16:00

☆対象☆ 区内在住・在勤・在学の「愛の手帳」をお持ちの方で、一人で全4回に参加が可能な方。

☆持ち物☆ エプロン、ハンドタオル

☆参加費☆ 1回毎に材料費など300円(4回で1,200円)

☆定員☆ 6名(定員を超えた場合は抽選)



☆申込方法☆ 10月27日(月)までに、電話(3905-7226)にてお申し込みください。

スキルアップパソコン講座のご案内

11月に「スキルアップパソコン講座～年賀状をつくろう～」を開催します。今年はちょっと早めにパソコンで年賀状をつくってみませんか？

スキルアップパソコン講座

～年賀状をつくろう～

日時：11月5日(水) 14:00～17:00

場所：障害者福祉センター 2階洋室 講師：ITコミュニケーションズ

対象：北区に在住・在勤・在学の身体障害者手帳か愛の手帳をお持ちの方で、キーボードを使用して文字入力ができる方。障害の種別は問いません。



※手話通訳が必要な方はお申し出ください。



講座の内容：年賀状の作成、宛名書きの方法など

定員：6名(応募者多数の場合は抽選になります)

受講料：無料

申込み方法：10月18日(土)までに電話かFAXにて、自立生活支援室(3905-7226)に

①氏名 ②住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤障害の状況をお伝え下さい。

障害者作品展のお知らせ

12月6日(土)、7日(日)に障害者福祉センターで毎年恒例の障害者作品展が開催されます。支援室では6日に大好評のネイルアートを、7日に便利グッズの展示を行います。



ネイルアート

12月6日(土)の障害者作品展のブースにて、ネイルアートを実施します！
いつもとは少し違った爪のオシャレをしてみませんか？

日時：12月6日(土) 11:00～16:00 (10:00～受付開始)

場所：障害者福祉センター1階 障害者地域活動支援室きらきら

講師：山野美容芸術短期大学

対象：北区在住・在勤・在学の身体障害者手帳および愛の手帳をお持ちの方

定員：30名

参加費：無料

当日の流れ：①直接会場へお越し下さい。

②お越しいただいた方から順に、
好きな時間のご予約を受け付けます。

③ご予約いただいた時間にお越しいただき、ネイルアートスタートです。
(お一人様30分の時間を予定しています。)

事前のお申し込みは、
必要ありません。

便利グッズを展示します

日時：12月7日(日) 11:00～15:00

場所：障害者福祉センター1階 障害者地域活動支援室きらきら

テーマ：「食」～作る、食べるの自具～

内容：障害のある方々が料理を作ったり食べたりするときに便利なグッズを展示します。それぞれのグッズにわかりやすい説明文つき！ 今年の国際福祉機器展で発見したグッズもあります。

* * * * *

国際福祉機器展に出展された福祉機器のガイドブックを入手しました！ ご覧になりたい方は支援室までお越し下さい。ご自分で購入希望の方は <https://www.hcrjapan.org/book/hcrhon.html> をご覧下さい。

H. C. R. 2008 福祉機器ガイドブック

国内 267 社 海外 51 社の最新福祉機器情報 1,500 点を掲載。探したい製品をこの 1 冊で！

A4 判:308 ページ(カラー) 発行日:2008 年 9 月 16 日

価格:1,000 円(税込)※「送料」と、「代金振込(前払い)」か「代金引換」に関わる手数料は申込者負担。

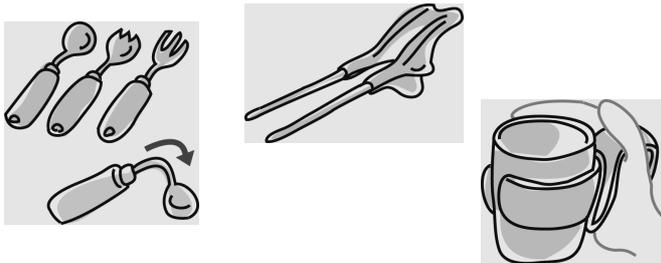
白を基調に、桔梗の花があしらわれたシンプルな表紙の冊子です。

国際福祉機器展に行ってきました

9月24日(水)～26日(金)に東京ビックサイトで**第35回国際福祉機器展**(国内外16ヶ国1地域の530社・団体が出展)が行われ、25,000点もの福祉機器が展示されました。その様子を支援室の職員2名がご報告いたします。

【渡辺】

日常生活用品「食事」のコーナーでは、握りやすい箸、柄の曲がるスプーン・フォーク、すべりにくく落としても割れない食器など便利な自助具がたくさん並んでいました。



中でも、介護食品の試食ブースは沢山の人で賑わって
いました(*^▽^*) /



【佐野】

9月24日に見学に行ってきました。高齢者向けの福祉機器の展示が多くありましたが、私は視覚障害関連の機器を中心に見て回りました。視覚障害関連のブースは全体の1割にも満たないほどの少ない出展でしたが、各社の最新の機器が展示されていました。印象に残ったのは、次の2点です。

1. 音声・拡大読書器「よむべえ」(アメディア)

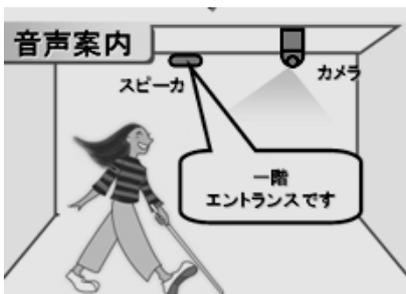
欧米では音声読み上げ機能の付いた拡大読書器は多くありますが、日本ではあまり見かけないので珍しく感じました。この機械は、印刷された活字文書を音声で読み上げ、また拡大して見ることのできるものです。文字認識の精度は完璧とは言えませんが、通帳や領収書など他人に見られたくない書類を自分の目と耳で確認できるという点で、重要な支援機器だと感じました。



音声拡大読書器「よむべえ」

2. 視覚障害者向け音声案内システム (NEC、TOA)

設置したカメラの映像に白杖が映ると音声案内が流れ出すという装置で、駅や公共施設において音声案内を流しっぱなしにせず、音声案内が必要な方が来たときのみ音声案内を流すことができるそうです。騒音防止や省エネという点では理想的な機器だと思いますが、音声案内が常時流れていないと不安になる方もいらっしゃるのでは、とも思いました。



以前から気になっていた製品を間近で見ることができたので、とても勉強になりました。

北京パラリンピック観戦記

9月6日(土)～17日(木)まで、「北京パラリンピック」が開催されました。パラリンピックとは身体障害者(聴覚障害者、知的障害者を除く)を対象とした世界最高峰のスポーツ大会で、オリンピックと同じ年に同じ場所で開催されます。今回の北京パラリンピックは約145カ国から集まった約4,000人の選手が20競技472種目で熱戦を繰り広げました。支援室職員の谷内孝行が現地で実際に競技を観戦しましたのでその模様をご報告します。

* * * * *

9月12日(土)から15日(祝日)までの3日間、障害者スポーツを研究している大学教員と生徒さん、特別支援学校(盲学校)の教員らとともに北京で開催されたパラリンピックを観戦してきました。

北京市内では空港は勿論のこと、地下鉄全駅で乗客を対象としたセキュリティーチェックが厳しく、現地の方の通勤や通学は大変そうでした。メイン会場となるオリンピック公園(水泳や陸上等)では、検査は一段と厳しく入場するまでに多くの時間を費やすこととなりました。3日間に渡り、車いすバスケット、車いすテニス、水泳などいくつもの競技を観戦しましたが、中でも特に視覚障害の競技スポーツである「ゴールボール」について、ご存知ない方も多いかと思いますので、ご紹介を兼ねてご報告します。



写真1：メインスタジアムの「鳥の巣」

ゴールボールは縦18m×横9mとバレーボールと同じ広さのコートの両サイドに幅9m、高さ1.3mのゴールポストを置きます。このゴールに鈴の入ったゴムボール(1.25kg)を投球する(床を転がす)競技です。



写真2：ゴール前を守る3人の選手

選手は各チーム3人制で、全員がアイシェード(目隠し)を装着します。前半10分、後半10分、ハーフタイム3分で1試合となります。このように書くと非常に簡単な競技のように思われるかもしれませんが、相手に止められないように1.25kgのボールを転がすには相当の筋力が必要です。また、逆に目隠しをしている状態で、床を猛スピードで転がるボールを捕らえるのも至難の業です。ゴールボールでは競技の妨げとなるため、競技中、観客は声を出してはいけません。観客はまさに息をの

む状態で観戦します。しかし、男子決勝戦(中国対リトアニア)では、両者のパワーとスピード、テクニックに歓喜する観客はついつい声が・・・関係者から度々、注意を受けるシーンがありました。決勝戦で中国の優勝を告げるホイッスルの後、大きな歓声が会場を埋め尽くしました。このような感動的な場に立ち合えたことを非常に嬉しく思いました。



写真3：ボールを投げる選手

北京パラリンピック各国メダル獲得数

順位	国名	金	銀	銅	合計
1位	中国	89	70	52	211
2位	イギリス	42	29	31	102
3位	アメリカ	36	25	28	99
4位	ウクライナ	24	18	32	74
5位	オーストラリア	23	29	27	79
17位	日本	5	14	8	27



情報提供

その1: 視覚障害者向けイベントのお知らせ

視覚障害者向けのイベント「サイトワールド 2008」と「アメディアフェア」が今年も開催されます。どちらも、全国から大勢の視覚障害者やそのご家族、福祉関係者、支援者などが集まるイベントです。

サイトワールド2008

～ふれてみよう！

日常サポートから最先端テクノロジーまで～

日時：11月2日（日）、3日（月・祝）、4日（火）
10時～17時（最終日は16時まで）

会場：すみだ産業会館 サンライズホール
（墨田区丸井共同開発ビル8階・9階）

アクセス：JR・地下鉄半蔵門線 錦糸町駅 南口前

内容：

入場無料

展示会（8階）

視覚障害者用の最先端機器や日常生活用品の展示、視覚障害者への配慮を行っている業界、団体の試みの紹介、視覚障害に関係する団体の活動の紹介。

レイ・ブライユ生誕200年記念展（9階会議室4）

講演会・学会・シンポジウム（9階会議室1・2）

2日10:30～ 講演「触覚で見る」

2日13:00～ 「ライフサポート学会」

3日13:00～ 講演「視覚障害利用者からの発言
…使いやすさと使いにくさ」

4日10:30～ 「サイトワールド・アクセシビリティ・
フォーラム」

主催：社会福祉法人 日本盲人福祉委員会（サイトワールド委員会）

詳しくはサイトワールドのホームページ

<http://www.sight-world.com/>

をご覧ください。

8階会場入り口手前左には喫茶店「リーフ」、7階にはレストランフロアがあります。

第18回アメディアフェア

～社会との新たな接点を目指そう～

日時：12月23日（火・祝）
10時30分～17時

会場：東商センター（台東区柳橋2-1-9）

アクセス：JR総武線 浅草橋駅東口 徒歩5分
都営浅草線 浅草橋駅 A-6出口 徒歩5分

内容：

入場無料

展示会

20社以上の企業・大学等による視覚障害者向け最新機器の展示（10時30分より各社出品品の説明、展示会は11時開始）。

講演会

11:00～ 「裁判員制度と視覚障害者」

14:00～ 「再生機器にあわせたデジタイズの作成方法」

豪華景品が当たる抽選会

焼きたてパンの販売 スワンベーカリー十条店



主催：株式会社アメディア

詳しくはアメディアフェアのホームページ

<http://www.amedia.co.jp/event/amediafair/>

をご覧ください。

JR浅草橋駅の正面の江戸通り沿いには、人形、文房具、季節装飾品の問屋があります。

その2：懸賞論文募集のご紹介

福祉の現場で感じたこと、考えたことを文章にして懸賞に応募してみませんか。今年は新たに「特別賞」が設けられました。

(財)愛恵福祉支援財団主催

「豊かな福祉社会を創るために」懸賞論文募集

世界各国で急速に進展する高齢社会の中で、
私たち一人ひとりが支え合う社会の創造が求められています。

福祉・介護の現場での体験を社会にアピールし、
そこに関わる人々を応援する目的でこの懸賞論文は企画されました。

対象：原則として東京都内在住・在勤・在学者の方

- (1) 学生の部：中学生以上
- (2) 専門職の部：高齢者、障がい児・者福祉施設および在宅福祉現場で働く方
- (3) 一般の部：高齢者、障がい児・者介護に関する体験を持つ方

テーマ：「高齢者、障がい児・者との出会い」「こころに響いた体験」など、
福祉の現場で、また身近なところで感じたこと、考えたことなどをテーマにします。

賞：特別賞（1名、賞状と海外研修参加資格または10万円）

最優秀賞（各部1点、賞状と副賞5万円）

優秀賞（各部3点、賞状と副賞2万円）

佳作（若干名、賞状と副賞1万円）

2月上旬に表彰
式が行われます

受賞者以外の応募者全員に記念品贈呈。応募者の作品はすべて「2008年度懸賞論文集」に掲載されます。

申込方法：A4版400字詰め原稿用紙2枚以上5枚まで、横書き。PC・手書き共に可。

表紙に、①タイトル、②氏名（ふりがな）、③郵便番号、④住所、⑤電話番号、⑥メールアドレス、⑦都内在住者以外は学校・勤務先の所在地、⑧この懸賞論文を知ったきっかけを記入し、各部門を明記の上、郵送またはFAXで送付してください。

学生の部に応募される方は学校名・学年、専門職の部に応募される方は所属団体・担当業務、一般の部に応募される方は職業等を明記してください。

応募締切：10月31日（金）（必着）

**お問い合わせ
応募先**：(財)愛恵福祉支援財団 東京YMCA会員部内「懸賞論文募集」係
〒135-0016 江東区東陽2-2-20

TEL：03-3615-5568 FAX：03-3615-5578

E-mail：kaiin@tokyo.ymca.or.jp

ホームページ：http://www.aikei-fukushi.org/jigyo/ronbun.html



その3：ふらっときたおもちゃの図書館のご紹介

心身に障害があるため上手に遊べない、人とのかかわりがうまくできない、そんな子ども達が、いろいろなおもちゃやボランティアの人々、お友達と出会って楽しく遊ぶことを目的に作られた「おもちゃ図書館」。全国に500ヶ所以上ありますが、北区では「ふらっときたおもちゃ図書館」として活動しています。「ふらっときたおもちゃ図書館」は障害の有無にかかわらず幼児から大人まで、名前のおとりに誰もが気軽にふらっと立ち寄り、安心して遊べる場所です。



活動場所・活動時間：赤羽児童館内（北区赤羽南1-16-1-101・JR赤羽駅より徒歩5分）

ハッピールーム	第2、4火曜日	午後2:30～5:00
おもちゃ病院	第2、4火曜日	午後1:00～4:00
おはなし会	第2火曜日	午後4:00～



年間行事：

保護者向けの講演会、親子クッキング教室、親子体操教室、地域のおまつりやバザーへの参加等



お問い合わせ：天羽 Tel&Fax：3914-1711

お気に入りの本やおもちゃがあれば貸し出しもしています。

親同士のコミュニケーションの場でもあります。悩みの相談や情報交換、編み物や小物作りなどもやっています。みんなで楽しく話しましょう！

編集後記

北区障害者地域自立生活支援室から“支援室だより”第32号をお送りしました。パラリンピックを見ても、国際福祉機器展を見ても、福祉関係の道具や器具、機械の進歩には目をみはるものがあります。しかしそうしたハード面がどんなに進歩しても、ソフト面、つまり人の心の面での支援が手薄になってしまっただけでは意味がありません。支援室では障害のある方のより一層の社会参加、自立生活を支援するべく、相談業務に力を入れております。ご活用ください。

* * * * *

北京パラリンピックの車いすテニス男子シングルで金メダルを獲得した国枝慎吾選手、格好よかったですね～♡。私ももう少し若かったら車いすテニスやってみたかった……なんちゃって。パラリンピックは到底むりでも、スポーツの秋でもあることだし、自分なりに身体を動かしてみようと思います。（くるみ）



発行：北区障害者地域自立生活支援室 Tel&Fax:03-3905-7226